

令和 7 年度 定時総会資料

日時：令和 7 年 6 月 2 5 日（水） 1 5 時 0 0 分
場所：ロイヤルパインズホテル浦和

公益社団法人

さいたま観光国際協会

Saitama Tourism and International Relations Bureau

目 次

報告事項

報告第 1 号	令和 6 年度事業報告について	1
---------	---------------------------	---

議 案

議案第 1 号	令和 6 年度決算報告について	16
---------	---------------------------	----

議案第 2 号	役員（理事・監事）の選任について	30
---------	----------------------------	----

議案第 3 号	諸規則の一部を改正する規則の制定について .	32
---------	------------------------	----

参考資料

特別功労者・功労者表彰	34
-----------------------	----

令和 7 年度事業計画・収支予算について	36
--------------------------------	----

令和6年度 公益社団法人さいたま観光国際協会事業報告
(令和6年4月1日から令和7年3月31日現在)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

さいたま市及びその周辺地域における観光、コンベンション事業及び国際交流、国際協力事業の振興を図り、文化向上と、多文化共生の社会づくりを促進し、地域社会の発展とともに、国際化に資することを目的とする。

(2) 概況

① 設立年月日

平成3年4月6日

(平成25年10月1日公益社団法人へ移行)

② 基本財産

2億2,020万円

③ 実施事業

- ・内外観光客及びコンベンションの誘致促進、開催支援並びに広報宣伝
- ・観光及びコンベンションに関する調査研究並びに情報の収集・提供
- ・観光及びコンベンション振興のためのイベント等の開催並びに観光・物産の開発・振興
- ・国際交流、国際協力に関する多文化共生事業
- ・国際交流センター、観光案内所その他関連施設等の管理及び運営
- ・その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数

会長	1人
副会長	2人
専務理事	1人
常務理事	2人
理事	23人
監事	3人

(2) 理事・監事

① 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動事項
令和6年6月26日	専務理事	岡 村 彰	辞 任
令和6年6月26日	理 事	關 谷 宏 之	辞 任
令和6年6月26日	理 事	中 村 隆 志	辞 任
令和6年6月26日	理 事	矢 口 敦 彦	辞 任
令和6年6月26日	理 事	渡 邊 誠 吾	辞 任
令和6年6月26日	専務理事	神 田 正 一	就 任
令和6年6月26日	理 事	金 子 芳 久	就 任
令和6年6月26日	理 事	谷 口 周 子	就 任
令和6年6月26日	理 事	中 村 元 信	就 任
令和6年6月26日	理 事	沼 野 光 利	就 任
令和6年6月26日	監 事	土 屋 文実男	就 任
令和7年1月23日	理 事	濱 野 博 美	死 亡

② 令和7年3月31日現在の理事・監事は次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
会 長（代表理事）	筑 波 伸 夫	令和元年6月24日
副会長（代表理事）	吉 沢 浩 之	令和5年6月21日
副会長	飯 澤 展 明	令和4年6月28日
専務理事	神 田 正 一	令和6年6月26日
常務理事	阿久津 基	令和3年6月23日
常務理事	神 田 篤	令和5年6月21日
理 事	石 川 忠 久	令和5年6月21日
理 事	泉 名 宣 男	平成26年6月27日
理 事	大 場 善 幸	令和4年6月28日
理 事	大 森 好 治	令和元年6月24日
理 事	金 子 義 人	平成26年6月27日
理 事	金 子 芳 久	令和6年6月26日
理 事	久 世 晴 雅	平成25年6月24日
理 事	小 宮 康一郎	令和元年6月24日
理 事	小谷野 堅太郎	令和5年6月21日
理 事	坂 井 貴 文	令和2年6月22日
理 事	染 谷 幸 一	令和5年6月21日

理 事	高 橋 三 男	平成25年 6 月24日
理 事	谷 一 郎	令和 5 年 6 月21日
理 事	谷 口 周 子	令和 6 年 6 月26日
理 事	戸 塚 大 介	令和 5 年 6 月21日
理 事	中 村 元 信	令和 6 年 6 月26日
理 事	沼 野 光 利	令和 6 年 6 月26日
理 事	橋 本 和 久	平成25年 6 月24日
理 事	東角井 真 臣	平成25年 6 月24日
理 事	本 田 秋 満	平成25年 6 月24日
理 事	三 上 晶 子	令和 5 年 6 月21日
理 事	緑 川 清 士	令和 4 年 6 月28日
理 事	山 崎 均	平成29年 6 月20日
監 事	井 原 實	平成25年 6 月24日
監 事	鈴 木 孝	平成25年 6 月24日
監 事	土 屋 文実男	令和 6 年 6 月26日

3 会員数の状況

種 類	前年度末	当年度末	増減
正会員	862	903	41
（内法人・団体会員）	(778)	(816)	(38)
（内個人会員）	(84)	(87)	(3)
賛助会員	199	197	△2

4 理事会及び総会の開催

(1) 理事会

開催日時	議決事項等
令和6年5月29日 (第1回定時理事会)	(議題) 議案第1号 令和5年度 事業報告について 議案第2号 令和5年度 決算報告について 議案第3号 役員(理事・監事)の選任について 議案第4号 特別功労者・功労者表彰の選考について 議案第5号 令和6年度定時総会の日程等について
令和6年6月26日 (第1回臨時理事会)	(議題) 議案第6号 専務理事の互選について
令和7年3月24日 (第2回定時理事会)	(報告事項) 令和6年度事業執行状況について 諸規則の一部を改正する規則の制定に関する会長専決事項について (議題) 議案第7号 令和7年度 事業計画について 議案第8号 令和7年度 収支予算について 議案第9号 諸規則の一部を改正する規則の制定について

(2) 総会

開催日時	議決事項等
令和6年6月26日 (定時総会)	(報告事項) 令和5年度事業報告について (議題) 議案第1号 令和5年度 決算報告について 議案第2号 役員(理事・監事)の選任について

5 職員の状況

令和7年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

区分	事務局長	事務局次長	課長/ 所長/ 副参与	課長補佐/ 所長補佐	係長/ 主査	主任	主事	契約/ 臨時/ 嘱託	合計
事務総括	1	1							2
総務課			(1) 1	1					2
総務係					2			1	3
SSCへ出向			1		1				2
観光事業課			1						1
イベント事業第1係					2	1			3
イベント事業第2係			1		(1)		2		3
イベント事業第3係					1	1	1		3
MICE・誘客事業係			1		2	1		1	5
国際交流センター			1	1	(1)			6	8
観光案内所								17	17
合計	1	1	6	2	8	3	3	25	49

※ 事務局次長／総務課長、副参与／イベント事業第2係長、国際交流センター所長補佐／係長と兼務

6 事業の実施状況等

事業の実施状況

【公益目的事業】

(1) 観光等振興事業（公益目的事業1）

■ イベント事業

① 主催事業

事業名	開催日	開催場所等	入れ込み等
さくら草まつり	4月13日（土） ・14日（日）	浦和駅西口駅前、 桜草公園（14日のみ）	約14,000人
大宮薪能	5月24日（金） ・25日（土）	武蔵一宮氷川神社境内	1,171人
人形のまち岩槻朝顔市	7月7日（日）	岩槻駅東口クレセントモール	約800人 販売数600鉢
浦和まつり前夜祭	7月12日（金）	コルソホール	197人

与野夏祭り	7月13日（土） ・14日（日）	本町通り及び周辺	約90,000人
浦和まつり中山道会場 音楽パレード・浦和おどり みこし渡御	7月21日（日） 9月22日（日）	旧中山道 新浦和橋下～調神社 ロイヤルパインズホテル浦 和前～さくら草通り	みこし： 約80,000人 パレード・お どり： 約50,000人
さいたまるしえ in さいた まクリテリウム	11月2日（土）	さいたま新都心けやきひろ ば	約32,000人
十日市	12月10日（火）	武蔵一宮氷川神社及び参道 周辺	約200,000人
十二日まち	12月12日（木）	調神社、旧中山道及び周辺	約110,000人
岩槻城址公園桜まつり	3月22日（土）	岩槻城址公園	約3,000人

② 事務局受託事業

事業名	開催日	開催場所等	入れ込み等
ばらまつり	5月11日（土） ・12日（日）	与野公園	約18,000人
大宮夏まつり 前夜祭 西口夏まつり スパークカーニバル 中山道まつり	7月11日（木） 7月31日（水） 8月1日（木） 8月1日（木） ・2日（金）	武蔵一宮氷川神社 呉竹荘 大宮駅西口周辺 大宮駅西口周辺 大宮駅東口周辺	86人 約10,000人 約100,000人 約110,000人
さいたま市花火大会	7月28日（日） 8月10日（土） 8月17日（土）	大和田公園周辺 大間木公園周辺 岩槻文化公園	約90,000人 約50,000人 約40,000人

■MICE誘致事業

① 誘致支援事業

- ・コンベンションキーパーソンへのセールス活動の推進
- ・観光、アトラクション情報等の提供
- ・観光マップ、コンベンションバッグ等の提供
 - ▶観光マップ20件・4,251部、観光ガイドブック22件・5,709部、コンベンション不織布バッグ1件・500枚、ビニールバッグ17件・3,265枚

- ・会場・観光地等の写真貸出
- ・市有施設優先予約の手配
- ・インターネットによるコンベンション情報の発信・拡充
- ・会議・レセプション等のユニークな会場の発掘・拡充（新規2件）

② 情報収集事業

- ・コンベンションデータ（顧客名簿・開催意向等）の管理及び更新
 - ▶各種情報のデータベースの管理・更新
- ・観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集

③ 経済波及効果調査事業

- ・コンベンション開催による経済波及効果調査の実施
 - ▶令和5年度年間開催件数の調査、年間経済波及効果報告書基礎資料作成（令和5年度経済効果額 29.9 億円）

④ コンベンション開催助成金制度

- ▶コンベンション開催助成金 12件 11,337,000 円
- ハイブリッドコンベンション開催助成金 9件 4,097,000 円
- ポストコンベンション開催助成金 2件 207,000 円
- コンベンション託児サービス支援助成金 6件 300,000 円
- ▶大規模国際コンベンション開催助成金 申請なし

■誘客事業

① 広報宣伝活動

- ・広報誌・Web上での観光プロモーションの実施
- ・動画・Webでの街歩きコースの紹介
 - ▶ショート動画に改編（49本）、YouTube と Instagram で今後随時展開
- ・テレビ、新聞・タウン誌、Web等の取材対応（118件）
- ・ご当地グルメなどの紹介
- ・大宮盆栽プロモーション
 - ▶Facebook フォロワー95,708 人
 - ▶海外からの訪問受け入れ
 - ▶イベント等での大宮盆栽パンフレット、マップの配布
 - ▶「大宮駅 BONSAI マルシェ！」を大宮駅で開催：3月21日（金）～23日（日）
- ・秩父・川越観光協会との3市連携事業
 - ▶「秩父芝桜まつり」4月20日（土）、「かわごえ産業フェスタ」11月16日（土）共同ブース出展
 - ▶キャラクタースタンプラリーの実施、ロケットカード作成

- ・各種観光セールス、観光キャンペーン等への参加
 - ▶埼玉県物産観光協会「台湾旅行社 B to B 商談会」への参加 10月8日（火）
 - ▶インバウンド誘致に向けた有力コンテンツへの応募、調整
 - ▶「SAITAMA トラベルマート」への参加 1月19日（水）浅草橋ヒューリックホール&カンファレンス
 - ▶「そぴあ」での観光PR展示 2月17日（月）～27日（木）
 - ▶「盆栽・鉄道のまち大宮 さいたまフェスタ in 新潟」
2月21日（金）～24日（月・祝） JR新潟駅 CoCoLo 新潟 吹き抜け広場「ガタリウム」
JR 東日本鉄道大宮支社と共同開催
- ・Bibliを活用した観光PRの開催
 - ▶テレビ埼玉「それゆけ！大宮セブン」番組収録協力 10月21日（月）
- ・中山道御宿場印プロジェクトへの賛同
 - ▶御宿場印デザインの作成、販売場所の調整、PR
- ・JR 大宮支社開催のフォトコンテストへの協力（景品手配、PR）
 - ・大宮国際中等教育学校とのインタビュー授業参加、Instagram 投稿の連携

② インターネットによるプロモーション

- ・さいたま市公式観光サイト「VISIT SAITAMA CITY」（2,944,496ページビュー）
 - ▶特集記事3本
 - ▶体験記事3本：内1本は慈恩寺開山1200年のPR
 - ▶新着情報、AIコンシェルジュ、花見頃カレンダーなど
- ・上記Webサイトや多言語公式Webサイト（Saitama City near Tokyo Visitors Guide）による国内外への誘致・PR
- ・X（旧Twitter）、Facebook、Instagramなどソーシャルネットワークを活用した観光情報の発信（フォロワー X 14,901人、Facebook 3,609人、Instagram 2,571人）
- ・観光サイトPRキャラクターの制作

③ 観光振興事業

- ・地域観光振興事業・団体等への助成、支援（24団体）
- ・観光ボランティア団体との連携（3団体）
- ・さいたま市の東日本連携事業への協力（東日本連携推進会議の運営に関すること）

■観光案内所運営事業

① 観光案内所等の管理運営

大宮観光案内所（JR大宮駅東西自由通路内）、さいたま新都心観光案内所（JRさいたま新都心駅東西自由通路内）、浦和観光案内所（アトレ浦和内）、岩槻観光案内所（東武岩槻駅自由通路内）の運営

・観光案内業務の案内件数

	浦和	さいたま新都心	大宮	岩槻	合計
来所	25,011	37,789	33,606	24,757	121,163
電話	1,320	290	562	398	2,570
合計	26,331	38,079	34,168	25,155	123,733
外国人	114	325	1,428	187	2,054

- ・各種パンフレット配布業務
- ・ビジット・ジャパン案内所のネットワークによる情報収集・発信

（２）多文化共生、国際相互理解促進事業（公益目的事業２）

■国際交流事業

① 国際推進事業

・多言語生活相談

相談言語	対応者	相談日	相談件数
中国語	国際交流員	毎週火曜日	8件
英語	国際交流員	毎週水曜日	14件
韓国・朝鮮語	国際交流員	毎週木曜日	6件
日本語等 (簡易生活相談)	市民ボランティア等	毎週月曜日 ～土曜日	370件

・ボランティア派遣事業

ボランティア区分	登録者数	依頼数
通訳・翻訳ボランティア	738人 21言語延べ908人	通訳84人 翻訳74人
ホストファミリー	400家庭	78家庭
IECボランティア	1,480人	515人

・地域日本語教育体制整備事業

会議等名		実施日	
地域日本語教育推進に係る総合調整会議		5月28日、3月18日	
さいたま市地域日本語ボランティア教室連携会議		3月6日	
地域日本語教育コーディネーター定例会議		4月9日、5月21日、6月18日 7月9日、8月20日、9月17日 10月22日、11月12日、12月10日 1月14日、2月18日、3月11日	
地域日本語ボランティア教室巡回		8月1日、12月16日	
総括コーディネーター 地域日本語教育コーディネーターの配置		令和6年度	
講座名	日程	会場	受講者
はじめてのにほんご こうざ	9月26日～12月2日 (全18回)	国際交流センター 浦和コミュニティセ ンター	延べ128人
市民のための「やさし い日本語」講座	① 7月16日 ② 1月28日	浦和コミュニティセ ンター	① 37人 ② 23人
地域の日本語学習者支 援者の教室づくりのた めの研修会	3月6日	浦和コミュニティセ ンター	14人

・外国人への日本語支援事業（にほんごのへや）

	学習者	要保育児	スタッフ等	参加者計
総数	2,841人	68人	3,098人	6,007人
コース別内訳				
浦和昼	869人	56人	1,119人	2,044人
浦和（子ども）	721人	---	466人	1,187人
浦和夜（一般）	606人	---	754人	1,360人
大宮昼	645人	12人	759人	1,416人

▶埼玉大学との連携による日本語支援事業

	学習者	要保育児	スタッフ等	参加者計
にほんごのへや 桜	206人	17人	378人	601人

- ・外国人市民に向けた地域・生活情報の提供
 - ▶多言語生活情報「ぷらら」 5 言語（日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語） 91号：6 月、92号：8 月、93号：11月、94号：3 月 計10,230部発行
- ・国際友好フェア
 - ▶5 月 3 日～4 日 市民の森・見沼グリーンセンター 参加団体39（26の国と地域）ステージ発表団体19 来場者約50,000人
- ・国際ふれあいフェア
 - ▶10月13日 浦和駅東口駅前市民広場・J R 浦和駅東口スペース 参加団体 24（17の国と地域）ステージ発表団体11 来場者約6,500人
- ・外国人による日本語スピーチ大会
 - ▶2 月 8 日 浦和コミュニティセンター多目的ホール 発表者10人 来場者約200人
- ・姉妹友好都市交流支援
 - ▶スポーツ少年団派遣・受入
 - サッカー少年団・代表団受入／トルーカ市（7 月11日～7 月17日 選手15人、団長・コーチ・医師 3 人、代表団 5 人）※1
 - 野球少年団（リッチモンド・リトルリーグ）受入／リッチモンド市（7 月28日～8 月 3 日 選手25人、団長・監督・コーチ等11人）※1
 - ▶リッチモンド市民受入（10月15日、リッチモンド市 2 人）※1
 - ※1 市長表敬訪問あり
 - ▶スポーツ少年団写真展／動画放映
 - 写真展：12月 2 日～12月 8 日 さいたま市市民ギャラリー 来場者186人
 - 動画放映：12月 2 日～12月 6 日 さいたま市役所本庁舎 1 階ロビー
- ・ホームページ、X等を利用した発信（フォロワー506人）

② 国際交流事業

- ・国際交流センター情報誌発行
 - ▶ IEC News 4 回発行（6 月、9 月、12月、3 月）各号2,000部
- ・ボランティア養成
 - ▶防災編（8 月24日 参加者21人）（11月 9 日 参加者22人）
 - ▶防災訓練（9 月 1 日 台風の影響により中止）
- ・ユース国際ボランティア
 - ▶トーゴ共和国大使館訪問（6 月 8 日 参加者17人）
 - ▶学生同士の異文化交流会（9 月14日 参加者18人 うち外国人10人）
 - ▶世界の子どもたちの交流（2 月22日 参加者21人 うち外国人 6 人）

- ・日本語国際センター研修参加者との交流（10月31日 参加者97人 うち研修参加者65人）
- ・国際交流会
 - ▶はじめましての会（4月20日 参加者41人 うち外国人9人）（10月19日 参加者44人 うち外国人10人）
 - ▶着物着付け体験会（1月19日 参加者58人 うち外国人24人）
- ・日本語ボランティア養成

講座名	日程	会場	受講者
特別講座	5月25日	浦和コミュニティセンター	67人
入門編浦和会場	8月27日、9月3日 9月10日	浦和コミュニティセンター	各回37人
入門編大宮会場	11月9日、11月17日 11月23日	レイボックホール	各回37人
日本語ボランティアのための交流研修会inさいたま	3月9日	浦和コミュニティセンター	39人

- ・ホームビジット
 - ▶6月15日（留学生26人 ホストファミリー18家庭）
 - ▶11月9日（留学生23人 ホストファミリー16家庭）
- ・異文化交流のための語学講座
 - ▶英語入門（計10回 各回12人）
 - ▶スペイン語初級会話（計5回 各回12人）
 - ▶韓国語入門（計10回 各回14人）
 - ▶英会話初級（計5回 各回19人）
- ・ぷらっとサロン企画事業
 - ▶ミニ講座・サロン展示（3回開催 アメリカ、スペイン、日本／盆栽、参加者合計 88人）
 - ▶おしゃべりサロン（英語、韓国・朝鮮語、スペイン語、中国語、ロシア語、日本語、みんなでおしゃべり会 参加者合計1,790人）
 - ▶体験型正しく伝える文章講座（7月24日 参加者10人）
- ・海外都市訪問団受入
 - ▶鄭州市訪問団／政府代表団・園林代表団（7月2日 政府代表団6人、園林代表団5人）
 - ▶トルーカ市市民訪問団（10月2日～10月3日 12人）※1

- ▶水原市サッカー訪問団（10月25日～10月26日 選手15人、水原市体育会 3人、水原市サッカー協会 9人）※1
- ※1 市長表敬訪問あり
- ・国際交流員（CIR）を活用した国際交流事業
 - ▶水原市市民とのオンライン文化・語学交流（計6回 各回さいたま市6人、水原市9人）
- ・オンライン交流など、新たな国際交流事業
 - ▶ナナイモ市市民団体とのオンライン交流（8月30日 さいたま市6人、ナナイモ市3人）
 - ▶浦和まつり中山道会場 浦和おどり飛び入り連参加（9月22日 外国人48人）
- ③ 国際協力事業
 - ・さいたま市国際NGOネットワーク等、国際協力団体との連携事業
 - ▶わくわくグローバルフェスタ2025（3月8日 参加者30人）

【収益事業等】

（1）物品販売事業

- ① 推奨土産品認定事業
 - ・推奨土産品の制度一部見直し、新たな推奨品認定（58品目）、広報及び販売経路の拡充
- ② 観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務
 - ・売上収入約550万円、販売手数料約125万円
- ③ その他、自主財源の確立に向けた取組
 - ・観光イベントにおける有料席販売など新たな収益事業の推進（約461万円）

（2）その他

- ① 情報収集事業
 - ・観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集
 - ・大都市観光協会連絡協議会（福岡市）へ参加し情報交換
- ② 会員サービス事業
 - ・会員拡大セールス活動（入会案内パンフレット・セールスグッズ作成配布）及び会員フォロー活動
 - ・会員向けセミナーの開催（3月24日（月） 大宮盆栽村100周年／DX推進セミナー）

③ 安全衛生管理事業

- ・健康診断、ストレスチェック、産業医等面談、健康促進イベント開催等による職員の健康促進

④ 経営改善のためのDX推進

- ・紙資源及び管理コスト削減と利便性向上のためWeb・メールなどの活用を促進
- ・電子決裁、キャッシュレス、テレワークの導入促進

令和6年度観光案内所 案内件数内訳

(単位：件)

		浦 和		さいたま新都心		大 宮		岩 槻		合 計	
市 内 案 内	区分	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
	パンフレット	8,846	82	17,347	11	12,031	11	7,551	22	45,775	126
	小売店	2	2	0	0	1,499	5	140	3	1,641	10
	観光施設	470	20	526	11	1,582	42	945	27	3,523	100
	公共施設	381	7	760	3	1,173	6	1,134	5	3,448	21
	金融機関	101	6	379	0	627	0	35	0	1,142	6
	土産品・グッズ	6,403	813	1,023	15	0	0	547	15	7,973	843
	宿泊施設	195	23	549	5	362	24	46	2	1,152	54
	娯楽施設	35	8	55	1	76	2	8	1	174	12
	交通機関	261	11	755	12	5,614	127	581	10	7,211	160
	飲食店	419	11	350	6	793	20	288	3	1,850	40
	イベント	1,400	125	12,242	180	751	26	5,037	56	19,430	387
	店舗	1,133	30	660	5	3,703	6	127	5	5,623	46
	その他	5,341	174	3,118	33	5,320	216	8,246	246	22,025	669
	小計	24,987	1,312	37,764	282	33,531	485	24,685	395	120,967	2,474
市外案内		24	8	25	8	75	77	72	3	196	96
合計		25,011	1,320	37,789	290	33,606	562	24,757	398	121,163	2,570
前年度		22,440	1,240	28,985	146	37,261	523	21,345	335	110,031	2,244

(単位：人)

	浦和	さいたま新都心	大 宮	岩 槻	合 計
外国人対応	114	325	1,428	187	2,054
前年度	111	223	1,117	122	1,573

議案第1号 令和6年度決算報告について

公益社団法人さいたま観光国際協会定款第39条の規定により、令和6年度決算報告について、次のとおり議決を求める。

令和7年6月25日提出

公益社団法人さいたま観光国際協会
会長 筑波 伸夫

決 算 報 告

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	0	0	0
普通預金	61,887,024	71,996,652	△ 10,109,628
現金預金合計	61,887,024	71,996,652	△ 10,109,628
(2) その他流動資産			
未収金	2,901,645	1,979,471	922,174
立替金	172,810	412,556	△ 239,746
前払金	3,544,655	2,559,720	984,935
商品	317,930	332,587	△ 14,657
その他流動資産合計	6,937,040	5,284,334	1,652,706
流動資産合計	68,824,064	77,280,986	△ 8,456,922
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
出資金	220,200,000	220,200,000	0
基本財産合計	220,200,000	220,200,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	122,343,964	112,287,805	10,056,159
事業振興基金積立資産	7,098,043	7,097,901	142
特定資産合計	129,442,007	119,385,706	10,056,301
(3) その他固定資産			
什器備品	102,020	233,646	△ 131,626
リース資産	14,080,000	19,360,000	△ 5,280,000
その他固定資産合計	14,182,020	19,593,646	△ 5,411,626
固定資産合計	363,824,027	359,179,352	4,644,675
資産合計	432,648,091	436,460,338	△ 3,812,247
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	31,646,669	29,280,712	2,365,957
未払法人税等	120,000	120,000	0
未払消費税等	1,409,700	1,099,700	310,000
預り金	9,776,931	10,154,277	△ 377,346
リース債務（短期）	5,280,000	5,280,000	0
流動負債合計	48,233,300	45,934,689	2,298,611
2. 固定負債			
退職給付引当金	181,590,389	180,298,131	1,292,258
リース債務（長期）	8,800,000	14,080,000	△ 5,280,000
固定負債合計	190,390,389	194,378,131	△ 3,987,742
負債合計	238,623,689	240,312,820	△ 1,689,131
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	124,441,000	124,441,000	0
指定正味財産合計	124,441,000	124,441,000	0
（うち基本財産への充当額）	(124,441,000)	(124,441,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
（うち基本財産への充当額）	69,583,402	71,706,518	△ 2,123,116
（うち特定資産への充当額）	(69,583,402)	(71,706,518)	(△2,123,116)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	194,024,402	196,147,518	△ 2,123,116
負債及び正味財産合計	432,648,091	436,460,338	△ 3,812,247

貸借対照表内訳表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会 計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
(1) 現金預金					
現金	0	0	0		0
普通預金	51,121,951	3,097,278	7,667,795		61,887,024
現金預金合計	51,121,951	3,097,278	7,667,795	0	61,887,024
(2) その他流動資産					
未収金	7,800	1,439,402	1,454,443		2,901,645
立替金	172,810	0	0		172,810
前払金	976,580	148,000	2,420,075		3,544,655
商品	0	317,930	0		317,930
その他流動資産合計	1,157,190	1,905,332	3,874,518	0	6,937,040
流動資産合計	52,279,141	5,002,610	11,542,313	0	68,824,064
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
出資金	0	0	220,200,000		220,200,000
基本財産合計	0	0	220,200,000	0	220,200,000
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	85,151,399	5,260,790	31,931,775		122,343,964
事業振興基金積立資産	7,098,043	0	0		7,098,043
特定資産合計	92,249,442	5,260,790	31,931,775	0	129,442,007
(3) その他固定資産					
什器備品	102,018	0	2		102,020
リース資産	10,757,120	506,880	2,816,000		14,080,000
その他固定資産合計	10,859,138	506,880	2,816,002	0	14,182,020
固定資産合計	103,108,580	5,767,670	254,947,777	0	363,824,027
資産合計	155,387,721	10,770,280	266,490,090	0	432,648,091
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	11,355,681	682,139	19,608,849		31,646,669
未払法人税等	0	0	120,000		120,000
未払消費税等	398,945	300,266	710,489		1,409,700
預り金	6,946,853	1,282,940	1,547,138		9,776,931
リース債務（短期）	4,033,920	190,080	1,056,000		5,280,000
流動負債合計	22,735,399	2,455,425	23,042,476	0	48,233,300
2. 固定負債					
退職給付引当金	126,386,911	7,808,387	47,395,091		181,590,389
リース債務（長期）	6,723,200	316,800	1,760,000		8,800,000
固定負債合計	133,110,111	8,125,187	49,155,091	0	190,390,389
負債合計	155,845,510	10,580,612	72,197,567	0	238,623,689
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
地方公共団体補助金	0	0	124,441,000		124,441,000
指定正味財産合計	0	0	124,441,000	0	124,441,000
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(124,441,000)		(124,441,000)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	△ 457,789	189,668	69,851,523	0	69,583,402
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(69,583,402)		(69,583,402)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	△ 457,789	189,668	194,292,523	0	194,024,402
負債及び正味財産合計	155,387,721	10,770,280	266,490,090	0	432,648,091

正 味 財 産 増 減 計 算 書
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	378,529	377,528	1,001
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	72,958	48,897	24,061
③ 受取会費			
正会員受取会費	8,164,000	8,526,000	△ 362,000
賛助会員受取会費	444,000	426,000	18,000
④ 事業収益			
事業収益	15,501,965	12,086,690	3,415,275
受託事業収益	4,202,100	4,204,000	△ 1,900
協賛金収益	6,482,141	9,454,294	△ 2,972,153
⑤ 販売収益			
売上収益	5,501,018	4,802,459	698,559
販売手数料収益	1,258,624	678,686	579,938
⑥ 受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	427,361,000	425,906,000	1,455,000
市委託料等収益	13,486,000	9,258,000	4,228,000
受取民間補助金	180,000	180,000	0
⑦ 受取負担金収益			
受取負担金収益	28,845,337	23,968,409	4,876,928
⑧ 寄付金収益			
寄付金収益	3,537,000	200,000	3,337,000
⑨ 雑収益			
受取利息	49,149	885	48,264
雑収益	142,214	139,026	3,188
経常収益計	515,606,035	500,256,874	15,349,161
(2) 経常費用			
① 事業費	381,541,563	369,311,664	12,229,899
② 管理費	136,187,588	133,147,718	3,039,870
経常費用計	517,729,151	502,459,382	15,269,769
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,123,116	△ 2,202,508	79,392
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,123,116	△ 2,202,508	79,392

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,123,116	△ 2,202,508	79,392
一般正味財産期首残高	71,706,518	73,909,026	△ 2,202,508
一般正味財産期末残高	69,583,402	71,706,518	△ 2,123,116
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	378,529	377,528	1,001
② 一般正味財産への振替額	△ 378,529	△ 377,528	△ 1,001
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	124,441,000	124,441,000	0
指定正味財産期末残高	124,441,000	124,441,000	0
III 正味財産期末残高	194,024,402	196,147,518	△ 2,123,116

注 1 収支決算書は、「公益法人会計基準の運用指針」（平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会）の正味財産増減計算書に基づき作成している。

正味財産増減計算書内訳表

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引等消去	合 計
	観光振興事業	国際交流事業	共通	小計	物品販売事業	会員サービス事業	共通	小計	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用益	0	0	378,529	378,529	0	0	0	0	378,529
基本財産受取利息									
② 特定資産運用益	0	0	72,958	72,958	0	0	0	0	72,958
特定資産受取利息									
③ 受取会費	0	0	4,082,000	4,082,000	0	0	0	0	4,082,000
正会員受取会費									
賛助会員受取会費	0	0	222,000	222,000	0	0	0	0	222,000
④ 事業収益	9,286,655	1,602,900	0	10,889,555	4,612,410	0	0	4,612,410	15,501,965
事業収益									
受託事業収益	4,202,100	0	0	4,202,100	0	0	0	0	4,202,100
協賛金収益	6,482,141	0	0	6,482,141	0	0	0	0	6,482,141
⑤ 販売収益	0	0	0	0	5,501,018	0	0	5,501,018	5,501,018
売上収益									
販売手数料収益	0	0	0	0	1,258,624	0	0	1,258,624	1,258,624
⑥ 受取補助金等	248,445,525	49,083,064	0	297,528,589	0	11,268,144	0	11,268,144	427,361,000
受取地方公共団体補助金									
市委託料等収益	0	13,486,000	0	13,486,000	0	0	0	0	13,486,000
受取民間補助金	180,000	0	0	180,000	0	0	0	0	180,000
⑦ 受取負担金収益	4,755,750	0	0	4,755,750	0	0	0	0	4,755,750
受取負担金収益									
⑧ 寄付金収益	3,337,000	200,000	0	3,537,000	0	0	0	0	3,537,000
寄付金収益									
⑨ 雑収益	0	27,005	0	27,005	0	0	0	0	27,005
受取利息									
雑収益	3,850	34,938	0	38,788	12,100	0	0	12,100	49,149
経常収益計	276,693,021	64,433,907	4,755,487	345,882,415	11,384,152	11,268,144	0	22,652,296	515,606,035

(単位：円)

目 科	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引等消去	合計
	観光振興事業		国際交流事業		物品販売事業		会員サービス事業				
	共通	小計	共通	小計	共通	小計	共通	小計			
(2) 経常費用											
① 事業費											
給料手当	108,510,457	36,462,463	0	144,972,920			8,814,487	0	8,814,487		153,787,407
臨時雇賃金	16,903,371	2,541,673	0	19,445,044			0	0	1,607,753		21,052,797
福利厚生費	18,157,540	5,724,550	0	23,882,090			1,607,753	0	1,965,302		25,847,392
退職給付費用	12,000,684	1,714,383	0	13,715,067			271,738	0	857,192		14,572,259
報償費	5,851,955	2,461,391	0	8,313,346			857,192	0	0		8,313,346
会議費	848,650	0	0	848,650			0	0	0		848,650
旅費交通費	849,744	368,638	0	1,218,382			0	0	0		1,218,382
消耗品費	2,020,747	1,496,000	0	3,516,747			2,200	0	2,200		3,518,947
食糧費	0	2,563,607	0	2,563,607			0	0	0		2,563,607
印刷製本費	4,821,928	497,010	0	5,318,938			0	0	0		5,318,938
光熱水費	905,672	0	0	905,672			0	0	0		905,672
通信運搬費	999,987	1,153,227	0	2,153,214			0	0	0		2,153,214
広告費	1,581,000	0	0	1,581,000			0	0	0		1,581,000
保険料	1,813,018	311,385	0	2,124,403			0	0	0		2,124,403
委託料	80,078,656	5,741,640	0	85,820,296			1,040,666	0	1,040,666		86,860,962
使用料及び賃借料	11,495,345	2,129,588	0	13,624,933			18,300	0	18,300		13,643,233
支払助成金	25,452,000	0	0	25,452,000			0	0	0		25,452,000
支払負担金	300,150	109,500	0	409,650			976,873	0	0		409,650
支払手数料	3,987	68,200	0	72,187			0	0	976,873		1,049,060
修繕費	70,510	0	0	70,510			3,936,849	0	0		70,510
原材料費	660,000	0	0	660,000			0	0	3,936,849		4,596,849
消耗什器備品費	0	0	0	0			415,066	0	0		0
租税公課	21,700	643,345	0	665,045			0	0	415,066		1,080,111
雑費	254,674	0	0	254,674			0	0	0		254,674
雑損失	0	0	0	0			96,000	0	0		0
リース資産減価償却費	3,072,000	1,056,000	0	4,128,000			3,375	0	96,000		4,224,000
什器備品減価償却費	50,625	37,125	0	87,750			0	0	3,375		94,500

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合計
	観光振興事業	国際交流事業	共通	小計	物品販売事業	会員サービス事業	共通	小計	
② 管理費									
役員報酬									13,650,706
給料手当									61,701,410
臨時雇賃金									1,592,253
福利厚生費									11,854,946
退職給付費用									5,213,767
報償費									20,000
会議費									0
旅費交通費									196,177
消耗品費									2,636,391
食料費									0
印刷製本費									618,101
光熱水費									1,233,432
通信運搬費									836,486
広告費									0
保険料									37,485
委託料									1,132,946
使用料及び賃借料									29,765,324
支払助成金									0
支払負担金									325,500
支払手数料									463,096
修繕費									12,980
原材料費									0
消耗什器備品費									0
租税公課									1,315,720
雑費									42,000
雑損失									0
リース資産減価償却費									1,056,000
什器備品減価償却費									37,126
交際費									825,742
顧問料									1,620,000
経常費用計	296,724,400	65,079,725	0	361,804,125	8,272,820	11,464,618	0	19,737,438	136,187,588
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 20,031,379	△ 645,818	4,755,487	△ 15,921,710	3,111,332	△ 196,474	0	2,914,858	10,883,736
基本財産評価損益等									0
特定資産評価損益等									
投資有価証券評価損益等									
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 20,031,379	△ 645,818	4,755,487	△ 15,921,710	3,111,332	△ 196,474	0	2,914,858	10,883,736
									0
									△ 2,123,116

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
実地棚卸による最終仕入原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
①車両運搬具、什器備品
定率法による減価償却を実施している。
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引にかかる方法に準じて、会計処理を行っている。
リース資産の減価償却方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	10,000,000	0
投資有価証券（市債）	210,200,000	10,000,000	0	220,200,000
普通預金	0	0	0	0
小 計	220,200,000	10,000,000	10,000,000	220,200,000
特定資産				
退職給付引当資産	112,287,805	10,056,159	0	122,343,964
事業振興基金積立資産	7,097,901	142	0	7,098,043
小 計	119,385,706	10,056,301	0	129,442,007
合 計	339,585,706	20,056,301	10,000,000	349,642,007

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	（うち指定正味 財産からの充当 額）	（うち一般正味 財産からの充当 額）	（うち負債に対 応する額）
基本財産				
定期預金	0	(0)	(0)	
投資有価証券（市債）	220,200,000	(114,441,000)	(69,583,402)	－
普通預金	0	(0)	(0)	－
小 計	220,200,000	(114,441,000)	(69,583,402)	－
特定資産				
退職給付引当資産	122,343,964	－	－	(122,343,964)
事業振興基金積立資産	7,098,043	(0)	(0)	(0)
小 計	129,442,007	(0)	(0)	(122,343,964)
合 計	349,642,007	(114,441,000)	(69,583,402)	(122,343,964)

4. 担保に供している資産

担保に供している資産は保有しておりません。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,628,500	1,526,480	102,020
パンフレット可動棚	474,600	474,599	1
パーテーション役員室	608,630	608,629	1
パーテーション西側	252,120	252,119	1
デジタルサイネージ	293,150	191,133	102,017
リース資産	26,400,000	12,320,000	14,080,000
合 計	28,028,500	13,846,480	14,182,020

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	2,901,645	0	2,901,645
前払金	3,544,655	0	3,544,655
立替金	172,810	0	172,810
合 計	6,619,110	0	6,619,110

7. 保証債務等の偶発債務

特にございません。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
さいたま市第13回公募公債	20,200,000	20,165,660	△ 34,340
さいたま市第14回公募公債	200,000,000	197,320,000	△ 2,680,000
さいたま市第22回公募公債	20,000,000	18,906,000	△ 1,094,000
利付国債5年173回	30,096,800	29,407,583	△ 689,217
利付国債2年465回	40,032,000	39,791,808	△ 240,192
合 計	310,328,800	305,591,051	△ 4,737,749

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	さいたま市	0	427,361,000	427,361,000	0	-
民間補助金	さいたま商工会議所	0	180,000	180,000	0	
合 計		0	427,541,000	427,541,000	0	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	378,529
合 計	378,529

11. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はございません。

12. 重要な後発事象

特にございません。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	180,298,131	19,786,026	18,493,768	0	181,590,389

財 産 目 録

令和 7 年 3 月 31 日

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	預金	普通預金	運転資金として	61,887,024
	未収金	売上金等	公益目的事業、収益事業	2,901,645
	立替金	次年度事業分等	公益目的事業、収益事業、法人会計	172,810
	前払金	釣銭等	公益目的事業、収益事業、法人会計	3,544,655
	商品	観光グッズ等	収益事業	317,930
流動資産合計				68,824,064
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	市公募公債	運用益を公益目的事業、管理運営、 その他事業の財源としている。	220,200,000
特定資産	退職給付引当資産	定期預金	運用益を退職引当金の財源としてい る。	20,889,940
		国債	〃	70,128,800
		市公募公債	〃	20,000,000
		普通預金	〃	11,325,224
	事業振興基金積立資産	定期預金	運用益を事業振興基金引当金の財源 としている。	7,098,043
その他固定資産	什器備品	パーティション等	公益目的事業、管理運営	102,020
	リース資産	パソコン、複合機等	〃	14,080,000
固定資産合計				363,824,027
資産合計				432,648,091
(流動負債)				
	未払金	社会保険料、事業経費等	公益目的事業、管理運営、その他事 業	31,646,669
	未払法人税等	法人税等	管理運営	120,000
	未払消費税等	消費税等	公益目的事業、収益事業、管理運営	1,409,700
	預り金	市補助金返還、雇用保険等	公益目的事業、収益事業、管理運 営、その他事業	9,776,931
	リース債務（短期）	パソコン、複合機等	公益目的事業、収益事業、管理運 営、その他事業（1年以内の債務）	5,280,000
流動負債合計				48,233,300
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員 2 3 名に対する退職金引当金	181,590,389
	リース債務（長期）	パソコン、複合機等	公益目的事業、収益事業、管理運 営、その他事業	8,800,000
固定負債合計				190,390,389
負債合計				238,623,689
正味財産				194,024,402

監 査 報 告 書

公益社団法人さいたま観光国際協会
会 長 筑波 伸夫 様

令和7年5月16日

公益社団法人さいたま観光国際協会

監 事 井 原 實 印

監 事 鈴 木 孝 印

(注) 監事 土屋文実男は病気療養中のため令和6年度の監査を実施しておりませんので、本監査報告書に押印をいたしていません。

私たち監事は、令和6年度公益社団法人さいたま観光国際協会の会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び財産目録等の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

議案第2号 役員（理事・監事）の選任について

公益社団法人さいたま観光国際協会定款第23条の規定により、理事及び監事の選任について、次のとおり議決を求める。

令和7年6月25日提出

公益社団法人さいたま観光国際協会
会長 筑波 伸夫

公益社団法人さいたま観光国際協会 役員（理事・監事）名簿

任期：令和7年度の定時総会から令和9年度の定時総会まで

（五十音順）

		役職名	氏名	団体名	役職名	備考
※	1	理事	厚川 俊子	ウィメンズ・アマティアス	代表	非常勤
※	2	〃	新船 孝子	公益財団法人埼玉県国際交流協会	業務執行理事 事務局長	非常勤 外部理事
	3	〃	石川 忠久	大宮商店街連合会	会長	非常勤
※	4	〃	石田 亨	鉄道博物館	館長	非常勤
	5	〃	泉名 宣男	大宮西口共同ビル株式会社	代表取締役	非常勤
	6	〃	大森 好治	協同組合浦和のうなぎを育てる会	代表理事	非常勤
	7	〃	金子 義人	浦和交通安全協会	会長	非常勤
	8	〃	金子 芳久	さいたま市経済局	局長	非常勤
	9	〃	神田 篤			常勤
	10	〃	神田 正一			常勤
	11	〃	久世 晴雅	有限会社久世造花工芸	代表取締役	非常勤
	12	〃	小宮 康一郎	岩槻観光委員会	委員長	非常勤
	13	〃	小谷野 堅太郎	株式会社寿屋	代表取締役	非常勤
	14	〃	坂井 貴文	埼玉大学	学長	非常勤
※	15	〃	諏佐 由有子	独立行政法人国際交流基金 日本語国際センター	副所長	非常勤
	16	〃	染谷 幸一	さいたま市浦和商店会連合会	会長	非常勤
	17	〃	高橋 三男	株式会社T P C 高橋犬猫病院	取締役	非常勤
	18	〃	谷 一郎	与野学院日本語学校	校長	非常勤
	19	〃	谷口 周子	株式会社武蔵野銀行 地域サポート部	部長	非常勤
	20	〃	筑波 伸夫			非常勤
	21	〃	戸塚 大介	岩槻人形協同組合	常務理事	非常勤
	22	〃	中村 元信	公益財団法人さいたま市公園緑地協会	理事長	非常勤
	23	〃	沼野 光利	公益財団法人埼玉県産業文化センター 営業推進部	部長	非常勤
	24	〃	橋本 和久	大宮ホテル旅館組合	組合長	非常勤
	25	〃	東角井 真臣	武蔵一宮氷川神社	権宮司	非常勤
	26	〃	本田 秋満	一般社団法人さいたまスポーツコミッション	専務理事	非常勤
	27	〃	緑川 清士	東日本旅客鉄道株式会社 大宮駅	駅長	非常勤
※	28	〃	村田 行雄	大宮盆栽協同組合	副理事長	非常勤
※	29	〃	矢口 敦彦			常勤
	30	〃	山崎 均	与野商店会連合会	会長	非常勤
	31	〃	吉沢 浩之	さいたま商工会議所	常務理事	非常勤

	役職名	氏名	団体名	役職名	備考
1	監事	井原 實	株式会社与野フードセンター	取締役名誉会長	非常勤
2	〃	鈴木 孝	鈴木税務会計事務所	税理士	非常勤 外部監事

議案第 3 号 諸規則の一部を改正する規則の制定について

公益社団法人さいたま観光国際協会定款第 3 2 条の規定により、諸規則の一部を改正する規則の制定について、次のとおり議決を求める。

令和 7 年 6 月 25 日提出

公益社団法人さいたま観光国際協会
会長 筑波 伸夫

公益社団法人さいたま観光国際協会役員の報酬及び費用弁償に関する規則の一部を改正する規則

公益社団法人さいたま観光国際協会役員の報酬及び費用弁償に関する規則（平成 3 年 3 月 2 6 日規則第 4 号）の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太線の表示部分（以下、改正前の欄にあっては「改正部分」と、改正後の欄にあっては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- (1)改正部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正部分を当該改正後部分に改める。
- (2)改正部分のみ存在するときは、当該改正部分を削る。
- (3)改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正後	改正前								
(賞与) 第 6 条 [略] 2 賞与の額は、賞与基礎額に、6 月に支給する場合においては 1 0 0 分の <u>1 2 0</u>、1 2 月に支給する場合においては 1 0 0 分の <u>1 2 0</u> を乗じて得た額に、基準日以前 6 箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。 別表（第 4 条関係） <table border="1"> <tr> <th>号</th><th>報酬月額</th></tr> <tr> <td>1</td><td>4 6 3, 7 0 0 円</td></tr> </table>	号	報酬月額	1	4 6 3, 7 0 0 円	(賞与) 第 6 条 [略] 2 賞与の額は、賞与基礎額に、6 月に支給する場合においては 1 0 0 分の <u>1 1 7. 5</u>、1 2 月に支給する場合においては 1 0 0 分の <u>1 2 2. 5</u> を乗じて得た額に、基準日以前 6 箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。 別表（第 4 条関係） <table border="1"> <tr> <th>号</th><th>報酬月額</th></tr> <tr> <td>1</td><td>3 0 3, 6 0 0 円</td></tr> </table>	号	報酬月額	1	3 0 3, 6 0 0 円
号	報酬月額								
1	4 6 3, 7 0 0 円								
号	報酬月額								
1	3 0 3, 6 0 0 円								

附 則（令和 7 年 3 月 2 4 日規則第 1 0 号）

（施行期日）

- 1 この規則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

令和7年度 公益社団法人さいたま観光国際協会 功労者表彰

特別功労者

功績	
1	団体名 大宮盆栽協同組合 令和7年に開村100周年を迎える大宮盆栽村は、大正14年の開村当初から高い理想をもって開墾され、盆栽文化を積極的に振興し、世界の盆栽愛好家の憧れの地となっている。昭和39年東京オリンピック、昭和45年大阪万博を機会に日本盆栽の魅力が認知され、後の平成元年／平成29年と2回にわたる世界盆栽大会の開催も多く、外国人の来場があり、多大な経済効果をもたらした。現在では日常でも毎日のようにインバウンド客の訪問や、各国要人との交流など、観光・国際交流で大きく寄与され、その功績は誠に大である。

功労者（観光・コンベンション）

（五十音順・敬称略）

氏名	略歴	関係年数	推薦者	功績
1 かの いさお 菅野 勲	H21.4-現在 与野商店会連合会 理事 (上野商店会会長) H29.4-現在 与野商店会連合会 副会長	16	与野商店会連合会 会長 山崎 均	さいたま市中央区区民まつり実行委員会の実行委員として、中央区のイベント事業に従事され、地域の活性化・コミュニティの場の提供に尽力される。西与野商店会連合会会長も務められ、中央区の与野公園で開催される「ばらまつり」に参加し、子供向けに射的コーナーを実施しイベント来場者から好評を得ている。また、被推薦者の事業も「そば打ち体験教室」であり、中央区の体験型観光の一役を担う。中央区の新年の行事として定着している与野七福神めぐりをモチーフにした「七福神クッキー」の発案及び製造も手掛け、与野の観光土産品として人気を博している（さいたま市商店街キャンペーン”さいたま市の逸品”に採用）。以上、さいたま市中央区の観光資源となる功績は非常に大きい。
2 くらもち かずお 倉持 一夫	H21.4-現在 大正時代まつり実行委員会 実行委員長 H29.4-現在 与野銀座商店街協同組合 理事長 H29.4-現在 与野商店会連合会 副会長	46	与野銀座商店街協同組合 副理事長 吉田 益教	31回の開催を行う大正時代まつりにおいては長年（第18回より）実行委員長としてイベントを取り仕切り、市内を代表するイベントとするなど地域振興に多大な貢献をしている。 また、地元商店会理事長および商店会連合会副会長として、地域商工業の発展にも寄与した実績を持つ。
3 そね りょういち 曾根 良一	H17.8-R5.7 岩槻人形協同組合 理事 (H24～26年度除く) R5.8-R7.7 岩槻人形協同組合 副理事長 H14.7-H20.6 岩槻人形優良店会 会長	44	岩槻人形協同組合 理事長 伴戸 武三	人形のまち岩槻まつりにおいて、ジャンボ雛段及び人形仮装パレードを実施する第2事業部の実行委員長を7年務め、同事業部の実行委員会を組成し、若手から年配に至るまで組合員を統率。人形仮装パレードに使う山車の修復を率先して行うなど、令和7年度その役を降りるまで、岩槻まつりの実施には欠かせない役割を果たした。若くして組合事業に積極的に関わり、岩槻流しびなのイベントでは、44年間にわたり実行委員会の中で中心的な役割を担っている。この他人形供養祭の実行委員も含め、常に実行部隊のリーダー的な存在であり続けている。岩槻の人形店が加盟する岩槻人形優良店会では、岩槻の人形店マップの制作、ホームページ制作等、「人形のまち岩槻」の知名度向上に長年努めてきた実績もある。（一社）日本人形協会の全国理事会では、埼玉（岩槻）の代表で意見を届けた。

4	なかじま ゆうじ 中島 勇治	H13.8-R7.7 H27.8-R5.7 R5.8-R7.7	岩槻人形協同組合 理事 岩槻人形協同組合 会計理事 岩槻人形協同組合 常務理事	37	岩槻人形協同組合 理事長 伴戸 武三	人形のまち岩槻人形供養祭において実行委員として37年実行部隊として現場の第一線で働き、実行委員長を10年務めて一時代を築いた。人形供養祭は昭和40年の第1回開催から続く岩槻人形協同組合全体で取り組む大きな事業であり、毎年11月3日に開催し「人形のまち岩槻」知名度向上に大きな役割を果たしている。岩槻において11月3日は鷹狩り行列等各種イベントが行なわれており、町全体が秋の祭りのような雰囲気包まれる。その中にある人形供養祭は、さいたま市民、近隣市町村そして他県からも供養及び観光として人々が集まる。さいたま市の協力による市報掲載、市内公民館のポスター掲示や、事後SNSでの動画アップを通して人々の認知度が高い。人形供養祭は、訪れた人に街を回遊してもらったり一端を担っており、実行委員長として事業全体を長年にわたり統率した。
5	ふじわら よしのり 藤原 祥法	H27.9-現在 H27.9-現在 H31-現在 R 2-現在	浦和飲食店組合入会 埼玉県料飲業生活衛生同業組合入会 埼玉県料飲業生活衛生同業組合 青年部 浦和飲食店組合 班長	9	浦和飲食店組合 組合長 小林 広幸	埼玉県料飲業生活衛生同業組合青年部として様々な活動を行い活躍するほか、「浦和おどり」や「十二日まち」「浦和うなぎまつり」の警備パトリールに従事するなど、長年にわたり地域活性化のために尽力している。
功労者（国際交流）						
6	さいとう ともこ 齋藤 智子	H24-現在 H31-現在 R 4-現在	にほんごのへや日本語指導ボランティア12年 にほんごのへや事業委員 3年、日本語ボランティア養成事業 事業委員3年 さいたま市の地域日本語教育関連事業総合調整会議委員3年、地域日本語教育コーディネーター 1年	12	(公社) さいたま観光国際協会 国際交流センター内運営委員会 常務理事 神田 篤	平成24年から、にほんごのへやの日本語指導ボランティアとして活動し、平成31年度から令和3年度まで、「にほんごのへや」の事業委員を務め、令和4年度から現在まで「日本語ボランティア養成事業」の事業委員を務めている。また、さいたま市の地域日本語教育関連事業においては、令和4年度から現在まで総合調整会議の委員、令和6年度からは地域日本語教育コーディネーターとしても日本語支援に尽力されている。
7	なかの かずえ 中野 一恵	H19-現在 H19-H26 H27-H28 H31-R3	にほんごのへや日本語指導ボランティア17年 企画委員 2年、支援学習事業委員・業務委員 6年 日本語ボランティア養成事業委員 2年 にほんごのへや事業委員3年	17	(公社) さいたま観光国際協会 国際交流センター内運営委員会 常務理事 神田 篤	市内外国人への支援活動を中心に、平成19年度から平成26年度まで企画委員や支援学習事業委員、業務委員を務める。翌年平成27年から2年間は「日本語ボランティア養成事業」の事業委員を務め、日本語指導ボランティアの人材発掘と育成を行う。平成31年から令和3年までの間は、「にほんごのへや」事業委員として外国人への日本語支援に尽力されている。また、にほんごのへや開設当時（平成19年）から現在まで日本語指導ボランティアとしても長年にわたり活動している。
8	にしもり せい 西森 勢	H24.4-現在	NP0さいたま市民ネットワーク 理事	13	NP0さいたま市民ネットワーク 理事長 森田 孝	平成24年10月、さいたま市のラオス水道協力事業20周年を記念し、NP0さいたま市民ネットワークの委嘱でさいたま市民ラオス友好協会の筆頭参事就任以来、さいたま市とラオスの親善友好を推進。主な実績は、平成28年5月、ビエンチャン特別市のチナイモ浄水場（さいたま市の協力による）を現地視察後、帰朝報告会を開催。令和4年3月、駐日ラオス大使館にて特命全権大使フオンサムット・アランワン閣下を公式表敬訪問。令和5年2月、さいたま市・ラオス水道協力30周年を記念し、同会副会長とラオスに渡航し民間外交を展開。令和7年3月日本ラオス外交関係樹立70周年を記念し、さいたま市民活動サポーターセンターフエスティバル（3月1日、3月2日）のNP0さいたま市民ネットワークブースに、ラオス観光案内コーナーおよび同フエスティバルステージで、在日ラオス人との協働による簡単なラオス語講座とバスロップ（ラオスのステップダンス）を紹介し、市民との交流の場を設けた。

令和7年度事業計画・収支予算について

紙資源削減のため、令和7年度事業計画・収支予算についてはホームページからダウンロードしてご覧ください。

事業計画

<https://stib.jp/portal/wp-content/uploads/R7jigyokeikaku.pdf>

収支予算

https://stib.jp/portal/wp-content/uploads/R7syuushiyosan_1.pdf

収支予算内訳表

https://stib.jp/portal/wp-content/uploads/R7yosanuchiwake_1.pdf